

感染症一覧表

横浜ナーサリー

H27年度
改訂

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。

園児がよくかかる感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけの医師の診断に従い、表Ⅰの感染症は、医師の登園許可(治癒)証明書をご提出ください。表Ⅱの感染症は、保護者記入の、登園届をご提出ください。

※ 保育園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

表Ⅰ 医師記入の登園許可【治癒】証明書が必要な感染症

感染症名	主な症状	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか) Measles	発熱、咳、目やに、頬 粘膜にコブリック斑	発症1日前から発疹出現後の4日後 まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ Influanza	高熱、咳、鼻水、嘔吐 下痢、腹痛	症状がある期間(発症前24時間から 発症後3日程度までが最も感染力が 強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を 経過するまで 《解熱した日を0日と数えます》
風疹 Three.Day measles	発熱、全身に細かく薄 紅色の発疹	発疹出現の前7日から後7日間くらい	発疹が消失してから
水痘(水ぼうそう) Chickenpox	発熱、赤く痒い発疹水 泡からかさぶたになる	発疹出現1~2日前から発疹がかさ ぶたになるまで	すべての発疹がかさぶたになってから
流行性耳下腺炎(おた ふくかぜ) Mumps	微熱、耳下腺、頸下腺 の腫脹	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、頸下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5日を経過するまで、かつ全身状態が良好にな るまで
結核 Tuberculosis	微熱、呼吸困難、咳が 長びく		医師により感染のおそれがないと認められるま で
咽頭結膜熱(ブル熱) Pharyngoconjunctival. fever	発熱、のどの痛み、目 の充血	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎 Epidemic. keratoconjunctivitis	目の充血、目やに	充血、目やに等症状が出現した数日 間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失 してから
急性出血性結膜炎	目の充血、目やに	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便 から数週間~数ヶ月排出される	医師により感染のおそれがないと認めるまで
百日咳 Whooping.cough	微熱、連続した咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な 抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
腸管出血性大腸菌感染 症(O157.O26.O111等) Enterohemorrhagic Escherichia Coli	嘔吐、腹痛、下痢 血便、発熱		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了 し、48時間を空けて連続2回の検便によって、 いずれも菌陰性が確認されたもの

表Ⅱ 医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症

病名	主な症状	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症 Streptococcal.infection	発熱、発疹、咽頭扁桃 炎、いちご状の舌	適切な抗菌薬治療を開始する前と開 始後1日間	抗菌薬内服後24~48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎 Mycoplasma.pneumonia	発熱、咳が持続	適切な抗菌薬治療を開始する前と開 始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病 Hand.Foot.And.Mouth	手、足、口腔に水疱性 発疹	手足や口腔内に水疱。潰瘍が発症し た数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段 の食事がとれること
伝染性紅斑(りんご病) Erythema infectiosum	頬、四肢伸側部に レース様紅斑、微熱	発疹出現前の1週間	全身状態が良いこと
感染性胃腸炎(ノロ、 ロタ、アデノウイルス等) Infectious Gastroenteritis	発熱、嘔吐、下痢、 	症状がある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間ウイルス を排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がと れること
ヘルパンギーナ Herpangina	高熱、咽頭痛、咽頭に 水疱	急性期の数日間(便の中に1カ月程 度ウイルスを排泄しているので注意 が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段 の食事がとれること
RSウイルス感染症 (細気管支炎) Bronchitis	喘鳴、多呼吸	呼吸器症状がある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹 Herpes zoster	神経に沿って痛みが 伴った発疹	水疱を形成している間	すべての発疹がかさぶたになってから
伝染性膿痂疹(とびひ) Impetigo contagiosa	かゆみを伴う湿疹	化膿した部分が治るまで	医師の判断による
突発性発疹	38°C以上の高熱が続 き、解熱と同時に背中 やお腹を中心に発疹 が出る		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと